カリキュラムマップ＜リハビリテーション学科理学療法専攻＞　2026年度以降入学生

建学の精神　「誠意と親切と広い心」を理念に、医療の基本的精神である科学と人間愛に基づき、医療の知識と技術向上に努め、地域医療福祉等に貢献できる人材を養成する。

↓

教育目的　全学…教育基本法の精神に則り、学校教育法に基づき、「誠意と親切と広い心」を理念に、豊かな一般教養の上に実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを目的とする。

リハビリテーション学科理学療法専攻…深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化・多様化する保健・医療・福祉に相応し得る知識・技術及び実践力をもつ理学療法士の養成を目的とする。

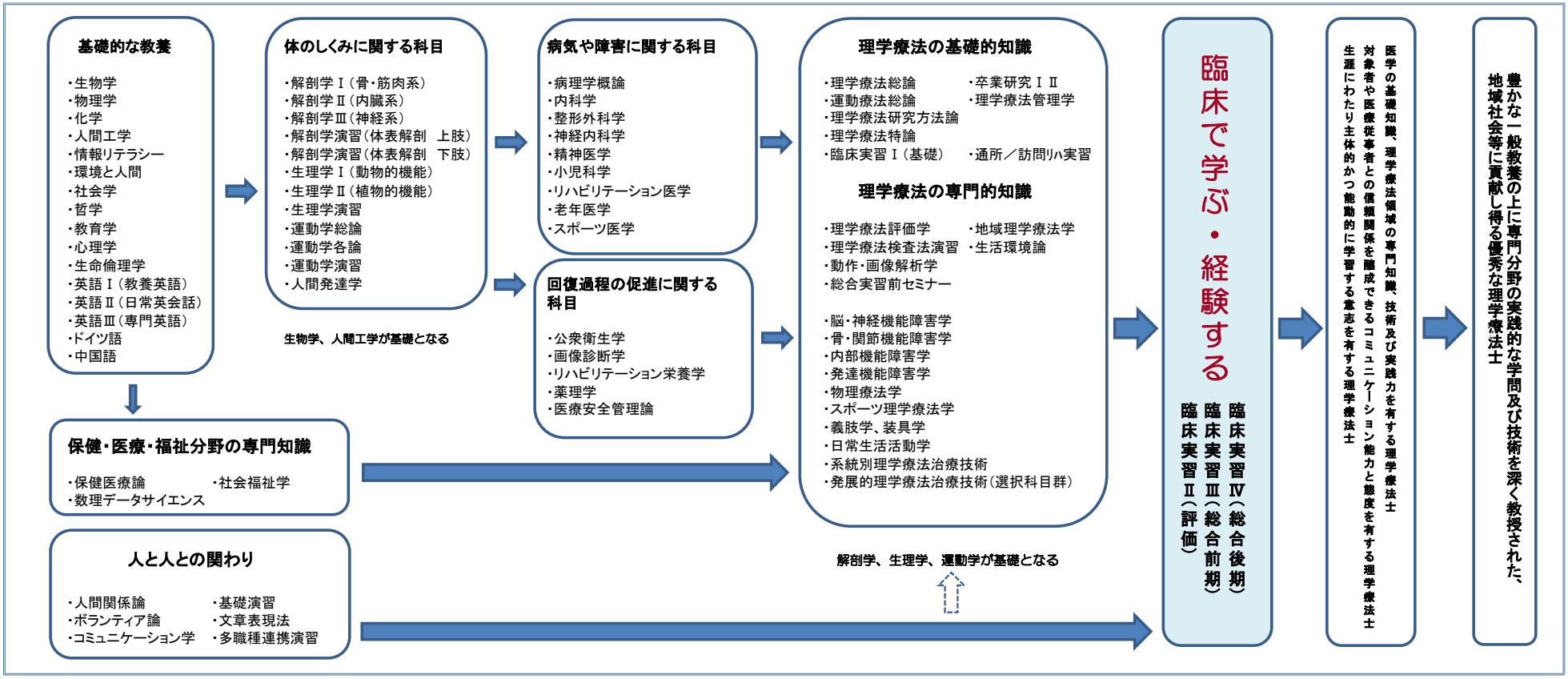
教育目標　①医学の基礎知識、理学療法領域の専門知識、技術及び実践力を有する理学療法士
②対象者や保健・医療・福祉領域に関わる従事者との信頼関係を醸成できるコミュニケーション能力と態度を有する理学療法士
③生涯にわたり、主体的かつ能動的に学習する意志を有する理学療法士

↓

※ディプロマ・ポリシーの番号は、P3の該当番号

教育目的に基づく カリキュラム・ポリシー		項目	1年次		2年次		3年次		学習成果	ディプロマ・ポリシー		
全学方針	学科方針		前期	後期	前期	後期	前期	後期		全学方針	理学療法専攻	
社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を身につけるため、全学に総合教育科目を配置する。	地域社会に貢献するために理学療法士として必要な教養と人間性、責任感や倫理観、コミュニケーション能力を身につけるため、人間と科学・コミュニケーション等の総合教育科目を配置する。	人間と科学	生物学 物理学 化学 人間工学	情報リテラシー 環境と人間					（全学）教養・倫理・責任感及びコミュニケーション能力の修得 豊かな教養と人間愛に基づき、対象者と信頼関係を構築できるコミュニケーション能力の習得	(1) 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療人として求められる教養を身につける。	(3) 対象者と円滑なコミュニケーションを図ることができ、相手の立場を尊重した人間関係を構築することができる。また、地域の保健・医療システム、特に地域包括ケアにおける理学療法士としての役割を理解し、多職種と連携・協働して諸問題に対処することができる。	(1) 広い視野と豊かな教養を身につけ、理学療法士としての社会的責任感や倫理観を身につけている。
		人間と社会	社会学 人間関係論 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ論	哲学 教育学 心理学			生命倫理学					
		コミュニケーション	基礎演習 文章表現法	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学								
		外国語	英語Ⅰ（教養英語）	英語Ⅱ（日常英会話） 英語Ⅲ（専門英語） ドイツ語 中国語								
専門教育科目は、専門職の基礎知識である人体・疾病などの専門基礎を学び、それぞれの学科・専攻課程ごとに、次のとおり専門知識・技術及び実践力を修得する科目を配置する。	身体の構造及び心身の機能を理解するための専門基礎科目を配置し、その上で運動や物理的手段を用いて疾病や障害の予防、そして疾病に伴う障害から生じる身体機能及び基本動作能力の回復・改善を促す理学療法の専門知識と技術を身につけるため、理学療法専門科目を配置する。 地域の保健・医療システム、特に地域包括ケアにおける理学療法士の役割、生活環境面に対する具体的支援方法について理解するとともに、障害の有無や年代にかかわらず、全ての人々が住み慣れた地域で生活できるように支援するための能力を身につけるため、専門基礎科目と理学療法専門科目を配置する。 科学者としての目と心を育み、理学療法に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力、それを生涯に渡り高める態度を身につけるため、専門基礎科目と理学療法専門科目を配置する。	人体の構造	解剖学Ⅰ（骨・筋肉系） 解剖学Ⅱ（内臓系） 解剖学演習（体表解剖　上肢）	解剖学Ⅲ（神経系） 解剖学演習（体表解剖　下肢）					医学の基礎的知識、理学療法領域の専門知識・技術及び実践力の習得 地域の保健・医療システムにおいて理学療法士の役割をはたす能力の修得	(2) 学習を通して、専門職として求められる専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉等に貢献できる力を身につける。 (3) 学科・専攻課程の教育目的に基づく学修を通して、人間、保健医療福祉問題等を科学的、論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。		(2) 身体の構造及び心身の機能を理解した上で、科学的根拠に基づいた理学療法を実践するために必要な知識並びに技術を身につけている。 (4)学術研究活動を通じて理学療法に関わる課題を解決するための科学的思考を身につけ、理学療法の質の向上のため、生涯にわたり主体的かつ能動的に知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる。
		人体の機能	生理学Ⅰ（動物的機能） 運動学総論	生理学Ⅱ（植物的機能） 生理学演習 運動学各論	運動学演習							
		心身の発達	人間発達学									
		疾病の成り立ち		病理学概論	内科学 整形外科学 神経内科学 精神医学 小児科学							
		障害の成り立ち		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学 老年医学 ｽﾎﾟｰﾂ医学								
		回復過程の促進	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ栄養学	公衆衛生学 医療安全管理論	薬理学			画像診断学				
		保健・医療・福祉の連携	保健医療論	社会福祉学	数理データサイエンス	多職種連携演習（IPE）						
		基礎理学療法学	理学療法総論	運動療法総論	理学療法研究方法論	卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅱ	理学療法特論	医学の基礎的知識、理学療法領域の専門知識・技術及び実践力の習得 地域の保健・医療システムにおいて理学療法士の役割をはたす能力の修得 対象者にとって最良かつ安全な理学療法を実践できる能力の修得 課題解決のための論理的な思考力と柔軟な発想力及び向上心と探求心を持ち、知識・技術の修得や学術研究活動を推進することができる能力の修得			
		理学療法管理学				理学療法管理学Ⅰ	理学療法管理学Ⅱ					
		理学療法評価学		理学療法評価学概論	理学療法検査法演習 動作・画像解析学	理学療法評価学演習	総合実習前セミナー					
		理学療法治療学		日常生活活動学	脳・神経機能障害学 骨・関節機能障害学 内部機能障害学 物理療法学 スポーツ理学療法学 義肢学 日常生活活動学演習	脳・神経機能障害学演習 骨・関節機能障害学演習 内部機能障害学演習 発達機能障害学 装具学 スポーツ理学療法学演習 パラスポーツ指導論 ヘルスプロモーションと理学療法	脳・神経系理学療法治療技術 骨・関節系理学療法治療技術 内部系理学療法治療技術 臨床バイオメカニクス 呼吸理学療法学	ニューロリハビリテーション 徒手理学療法学				
		地域理学療法学			地域理学療法学	地域理学療法学演習 生活環境論						
	臨床実習指導者の監督、指導の下、専門基礎科目や専門科目で学んだ専門知識と技術を統合し、対象者にとって最良かつ安全な理学療法を実践できる能力を身につけるため、理学療法専門科目（臨床実習）を配置する。 科学者としての目と心を育み、理学療法に関わる課題を解決するための科学的思考力と問題解決能力、それを生涯に渡り高める態度を身につけるため、専門基礎科目と理学療法専門科目を配置する。	臨床実習		臨床実習Ⅰ（基礎）	通所／訪問リハ実習	臨床実習Ⅱ（評価）	臨床実習Ⅲ（総合前期）	臨床実習Ⅳ（総合後期）	豊かな教養と人間愛に基づき、対象者と信頼関係を構築できるコミュニケーション能力の習得 地域の保健・医療システムにおいて理学療法士の役割をはたす能力の修得 対象者にとって最良かつ安全な理学療法を実践できる能力の修得			

科目関連図

各科目がどのように関連しているかを理解して学習をすすめる。

＜リハビリテーション学科理学療法専攻＞　2026年度以降入学生